

ご参加の皆様へ

地方分権改革の取組が20年を経過した今、地方への権限移譲や規制緩和等により、地域課題への柔軟な対応や行政サービスの向上・迅速化など、様々な改革の成果が現れています。「個性を活かし自立した地方をつくる」ために、新たなステージを迎える地方分権改革について、一緒に考えてみませんか。

内閣総理大臣挨拶



安倍 晋三 (あべ しんぞう)
内閣総理大臣

主催者挨拶



新藤 義孝 (しんどう よしたか)
内閣府特命担当大臣
(地方分権改革)

基調講演



神野 直彦 (じんの なおひこ)
地方分権改革有識者会議 座長 / 東京大学 名誉教授

昭和21年生まれ。
昭和44年東京大学経済学部卒業。日産自動車株式会社勤務を経て昭和53年東京大学大学院経済学研究科修士課程取得、昭和56年同大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。専門は財政学、地方財政論。
大阪市立大学助教授、東京大学大学院教授などを経て、

平成21年より東京大学名誉教授。現在、地方財政審議会会長、税制調査会会長代理、社会保障審議会年金部会部会長、地方分権改革有識者会議座長など多数の審議会等委員を務める。

著書に『地域再生の経済学』(中公新書)、『「分かち合い」の経済学』(岩波新書)などがある。

先進自治体の取組事例紹介

※登壇順・敬称略

プレゼンター



福田 富一 (ふくだ とみかず)
栃木県知事

昭和28年栃木県日光市(旧今市市)生まれ。
昭和47年栃木県庁入庁。
昭和54年日本大学理工学部建築学科卒業。
宇都宮市議会議員(昭和58～平成2年)、栃木県議会議員(平成3～11年)を経て、平成11年4月宇都宮市長に就任。

平成16年10月に退任後、同年11月栃木県知事に初当選し、現在3期目。平成24年7月から全国知事会社会保障常任委員会委員長を務める。市町村重視の県政の推進を掲げ、「地域とともに創る」という考えのもと、県民協働によるとちぎづくりに取り組んでいる。趣味はハイキング。座右の銘は「先憂後楽」。



松井 一實 (まつい かずみ)
広島市長

昭和28年広島市生まれ。
京都大学法学部を卒業後、昭和51年に労働省入省。在英国日本大使館一等書記官、厚生労働省大臣官房総括審議官(国際担当)、ILO理事(政府代表)、中央労働委員会事務局長などを歴任。

平成23年2月に厚生労働省を退職後、同年4月に広島市長に就任し、現在1期目。「対話・ビジョン・実行」を掲げ、世界に誇れる「まち」を目指し日々尽力。
指定都市市長会では、経済・雇用部会の部会長を務める。趣味はコーラス(バス担当)、油絵。座右の銘は「温故知新」。



川添 健 (かわそえ たけし)
鹿児島県長島町長

昭和19年2月25日生まれ。
昭和39年に旧東町役場に採用になり、昭和63年に企画財政課長に就いた後、総務課長を歴任し、平成7年に退職後、旧東町収入役に就任。
その後、旧東町議会議員に当選し、さらには、平成17年に

旧東町長に当選。
平成18年の旧東町、旧長島町との合併後における「新生長島町」の初代長島町長に就任し、現在は3期目を務め「夢と活力があり 住民一人ひとりを大切にする 福祉のまちづくり」を目指し、日々、長島町発展のために尽力している。